

津田永忠の偉業

「沖新田物語」の案内

今から約350年(1670年)前 津田永忠は備前岡山32万石。池田家の家臣で岡山藩郡代の要職にあった。彼は儒教の信奉者池田光政の真意を良く理解し、池田家墓所(和意谷御山)、閑谷学問所(閑谷学校)、後樂園の造園、吉備津彦神社の改築等々数々の事業を完成されたのは皆様周知の通りであります。

今回の沖新田物語は、平井~金岡に3m幅の土手、12Kmを半年間で、実に1,900名という想像を絶する大干拓を完成させたのであります。その工事にまつわる苦勞、「おきた姫」の人柱、沖田神社の謂れを、史実に基づく創作劇を地元沖新田地区の仲間が演じます。1月の26日に予定していた公演は劇団員のインフルエンザのため、延期になっていたものです。どうぞご来場の上、ご観覧ください。

記

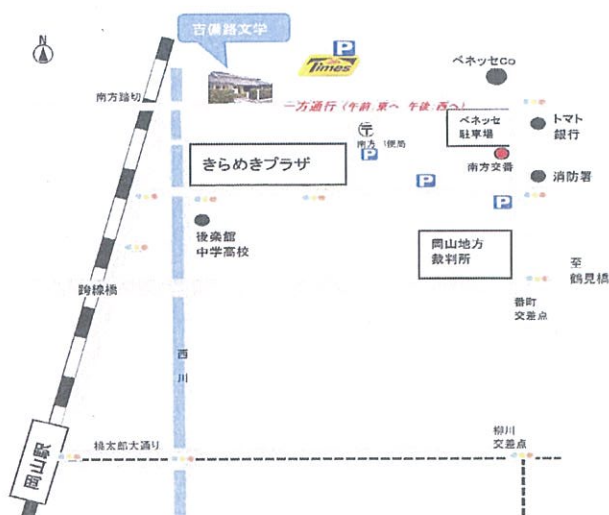
日時 平成31年6月22日(土) 14:00~ 約1時間の上演

場所 吉備路文学館 ☎700-0867 岡山市北区南方3-5-35

TEL (086) 223-7411 FAX (086) 223-7418

会費 通常の入館料のみ

以上



徒歩：岡山駅より北へ1.1km 徒歩15分
バス：『南方交番前』バス停から徒歩3分
駐車場：敷地内に8台分(前面道路「一方通行」午前東へ 午後西へ)

お車でお越しの方は、すぐ近くに有料駐車場も
ありますが、なるべく公共交通機関をご利用下さい。

